

## 令和4年度国立大学図書館協会地区協会助成事業 研修報告

<p>該当するビジョン 2025の重点領域・ 目標・行動計画</p>	<p>重点領域1. 知の共有:蔵書を超えた&lt;知識や情報&gt;の共有 目標 1-2) 図書館資料の整備と利用のための保存 重点領域3. 知の媒介:知の交流を促す&lt;人材&gt;の構築 目標 3-2) 国立大学図書館職員の能力向上 行動計画 3-2-2) 中・長期的な職員の育成方針に基づき、職員に標準的能力及び自館の特性に応じた専門的能力を習得させる。</p>
<p>事業目的・趣旨</p>	<p>スマートフォンの普及以降、国内における SNS 利用率は全ての年代で大幅に増加しており、学術情報の主要な生産拠点としての大学の活動を支える大学図書館においても、各館の情報戦略に則った SNS の利活用は課題となっている。SNS を活用した情報発信やそのリスク管理に関する知識習得を目的とした講習会を実施し、各図書館における広報機能の向上に寄与する。また、この成果の一部はホームページ等を通じて広く公開する予定である。</p>
<p>実施内容 (実施日、会場、参加者数等)</p>	<p>本事業は、九州地区国立大学図書館協会会員館の職員研修ワーキンググループが中心となって企画し、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みて web 開催とした。</p> <p><b>【開催概要】</b> 日時:令和4年12月8日(木) 14:00～16:00 内容:web 講演 主催:九州地区国立大学図書館協会 共催:九州地区大学図書館協議会 講師:Value Promotion 前田めぐる氏 内容:web 講演 参加申込者:104名 (九州地区 51名・その他地区 53名)</p>

セミナーの様子 (YouTube 配信の画面)

・ 講演：大学図書館広報のための 3 つの SNS 文章術

PowerPoint スライド ショー - [221208 国立大学図書館協会研修]

## 大学図書館広報のための 3つのSNS文章術

国立大学図書館協会九州地区 研修会

2022.12.8

広報アドバイザー  
前田 めぐる

Copyright © Maeda Meguru. All Rights Reserved.  
Monday, Adamsenka, Hi

8:36 / 2:06:24

・ SNS 文章術のポイント

PowerPoint スライド ショー - [221208 国立大学図書館協会研修]

## 大学図書館広報のための 3つのSNS文章術

### CONTENTS

- 0 SNS広報における3つのW
- 1 つかめる文章術
- 2 つたわる文章術
- 3 つながる文章術
- 4 ソーシャルリスク

9:23 / 2:06:24

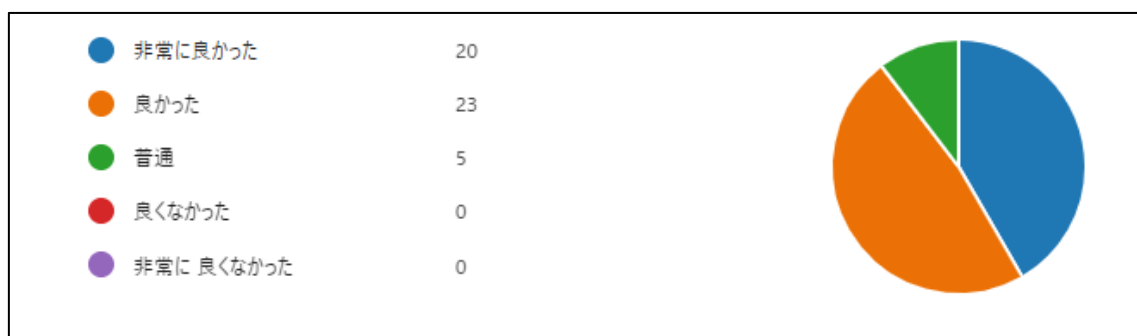
## 令和4年度「大学図書館広報のための3つのSNS文章術」事後アンケート集計結果

開催日：令和4年12月8日（web開催）

参加申込者：104名

回答者：48名

### 1. 今回のセミナーの内容について



2. 今回のセミナーを受けて講師に改めてお聞きしたいこと、質問したいこと、および同一テーマ（大学図書館における SNS 活用と情報発信）で再度セミナーを実施する場合、取り扱ってほしい内容等がありましたら自由にご記述下さい。

Twitter に特化して、効果的に利用者等に働きかける方法について、より詳しくお話を伺いたいと思いました。

クリスマスのツイートで「メリークリスマス」という言葉を含んでつぶやく予定なのですが、カタカナであれば、問題ないでしょうか？英語(アルファベット)であっても、何らかの日本語の言葉もいっしょにあれば問題ないでしょうか。

団体が運用する SNS の場合、個人の SNS とは違った留意事項があると思います。本当は本日のセミナーに出てきたような「人格を感じさせるようなツイート」を書きたいけれども、個人の感情をどこまで団体の SNS で出せるかは、その館の空気によって変わってくると思います。そういった点についてもお話を伺いたいと思いました。

余計なことと思いつつ気になりましたので記します。

講師の資料に、ステークホルダーとして「父兄」という表現が使われていましたが、もはやこの語は使われていないと思います。「保護者」や「保証人」等の表現に変更された方が良いのではないのでしょうか、と講師にお伝えいただけましたら幸いに思います。

SNS 投稿について、学生世代のインプレッションやエンゲージメントをあげるための、投稿時間帯の考え方について質問させていただきたいです。

大学図書館からの SNS 発信の中には、臨時休館・提供サービスの一時停止といった至急

の重要情報、学生向けのゆるめな発信やイベント開催のお知らせといったように、様々な投稿があるかと思います。このような異なるタイプの目的に適した投稿時間帯・タイミングについて、どのように考えるとよいでしょうか。

写真や画像を使う場合、どういった配色、内容、デザインなどが効果的かを伺いたいです。共感され信頼されるには「人となり」が大切、というお話があったと思いますが、人となりはまさに担当者によってしまうものなのではないかと感じました。言葉遣いや盛り込むべき内容を引き継げば、投稿の雰囲気はある程度保てるものなのではないでしょうか。

普段各種 SNS を見ていると、いわゆる「い抜き」「ら抜き」言葉を使っているアカウントがあり、違和感を感じることがあります(単なる入力忘れの可能性もありますが)。「カジュアルな感じがしてよい」と考える方も一定数いるとは思いますが、今回の研修スライド 25 枚目で文法的な誤用を指摘していたことを鑑みますと、「い抜き」「ら抜き」言葉も避けた方がよいという理解でよいでしょうか。

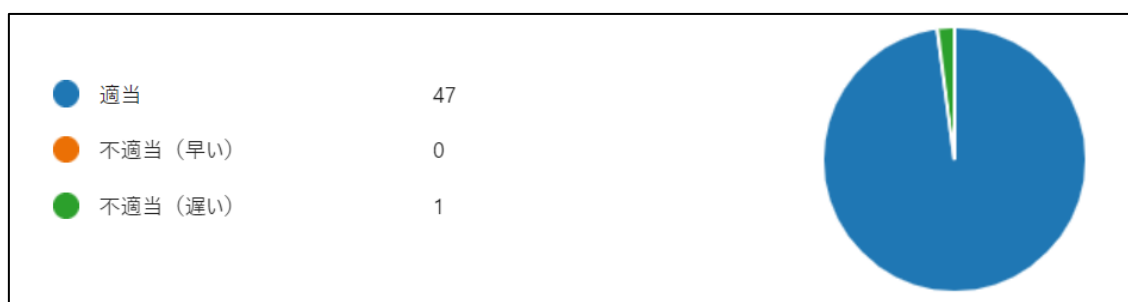
今回は、SNS 活用の専門家による実践的な研修といった内容だったので、次回同様のテーマで行う場合は、他大学図書館の実践事例(運用体制や投稿で気を付けていること、SNS の使い分け)が聞けるとよいと思いました。

また、今回はテキスト寄りの内容だったので、マルチメディア(画像や動画)寄りの内容も聞けるとよいと思いました。

図書館(大学図書館に限らず)の SNS 活用の好事例があれば参考にしたいので教えてください。

講師への質問になりますが、若者(大学生世代の)がどんな SNS でどうやって情報を入力しているのか知りたいです。新しい SNS がどんどん出てきますが、移ってしまうのでしょうか、それとも複数をも目的別で使い分けているのでしょうか。

### 3.開催時期について



ワークを含め 2 時間という設定は、ちょうど良いと思います。

秋くらいに開催いただければ幸いです。

4. セミナーの開催形式について、集合研修とオンライン形式のどちらが適切と感じたかお答えください。



5. 今後、図書館職員向け研修として取り扱ってほしいテーマがありましたらご記述ください。

今回のような内容は今後も新しい SNS などが登場すると思うので、定期的を開催していただけたらうれしいです。

改正著作権法について

研究データについて

- ・企画展示について、大学図書館職員の方から経験・ノウハウをお聞きすることができる研修。
- ・図書館ウェブサイトのリプレース(リニューアル)について
- ・学内利用者向けアンケートなど利用実態調査について
- ・学生協働の取り組みについて
- ・今後の大学図書館の在り方について(所蔵資料の電子化、図書館機能の変化等々)
- ・若手職員の育成について
- ・読書管理サービスの運用について(ブックログ・ナラベル等)

危機管理対応について(自然災害・利用者トラブル等)

集客力のあるイベントの企画方法について

- ・図書館における業務効率化(DX、RPA)
- ・大学図書館における著作権(ILL、館内でのコピー、リポジトリ登録関係、公衆送信)

図書館資料のアーカイブ化について

利用者に情報が伝わりやすいウェブサイトの構成について

大学生対象のレファレンス、ガイダンス企画、ポップ作成、動画作成、集客のアイデア・事例、展示のアイデア・事例、など

6.その他、全体を通してご意見・ご感想がありましたらご記述ください。

琉球大学の主催ということで、集合形式であれば参加不可能でしたが、オンラインにしていたので参加できました。ありがとうございました。

講師の方が zoom のチャットについてのコメントをしてくださっていたが、Youtube からはチャット画面が見られないため、分かりにくかったです。

本日はありがとうございました。

投影資料内にしか記載はないが、個人の Twitter の投稿内容をそのままスクショして掲載しているのはどうかと思った。ツイート内容からアカウントを特定できてしまった。

Zoom 参加者と Youtube 参加者で見えている情報が異なる (Zoom に寄せられたコメントが Youtube 参加者には見えない) ため、ワーク後の講師の話が頭に入ってこなかった。

どんな文章を書けばよいか参考になりました。

九州地区外なのでワークショップに参加できないのはしょうがないが、どんな文章をワークショップ参加者が書いたのか見られると良かったです。

ためになる研修でした。ありがとうございました。

九州地区以外の所属でも参加できたことが大変有難く感じます。

セミナーの内容も実務的ですぐに活かすことができそうです。

貴重な機会をいただきありがとうございました。

今回 YouTube より参加いたしました。講師の方が講義の中で取り上げてくださいましたが、チャット欄の内容が見られればさらに参考になったかと思えます。また、YouTube の字幕を消していただければ良かったかと思えます。

学生には近いしいコミュニケーションツールであることは承知していますが、「炎上」や「過剰反応」に恐れをなしてなかなか手が出ない SNS 発信へのアレルギーが少しだけ緩和されたように感じます。

用心すべき点についての各項もよく理解できました。

コミュニケーションの難しさを感じる時代だからこそ利用者とつながるインフォメーションツールとして SNS を利用したいものです。

学ぶ機会をいただき有難うございました。進行を担当された、琉球大学の皆様にはお世話になりました。

業務でしか SNS を使用していないため、大変参考になりました。

参加させていただき、ありがとうございました。

YouTube から視聴させていただいたのですが、英語の字幕が少々気になりました。ワークについて、他大学様の作成されたものを是非拝見してみたかったです。作成したものの投稿先として Google のスプレッドシートとか利用してみるのはいかがでしょうか。

大変貴重なお話を伺う機会をいただき、ありがとうございました。

とても勉強になりました。業務の参考にさせていただきたいと思えます。ありがとうございました。

今後の業務に参考になる情報ばかりでした。参加者の回答例が拝見できたのもとてもよかったです。

ありがとうございました。

●研修の実施方法について

・オンライン研修でのグループワークは対面よりもコミュニケーションが難しく、沈黙が起きやすいという印象でしたので、今回のようなチャットを活用した回答を共有しながらの個人ワークは良い方法だと感じました。

●研修の内容について

・大学の SNS で絵文字の使用には抵抗がありましたが、ある程度は使用しても良さそうということは新たな発見でした。

・読み手の心をつかむ文章の書き方について、大変勉強になりました。

・他のアカウントのフォロー可否について言及がありましたが、その中にはひっそりと SNS を使いたい人もいるかと思えます(投稿内容から自分の大学の教員/学生と思われるが、匿名で運用している人など)。そういった人の中にはフォロー/いいね付与/リツイート等されることでその大学の構成員ということが明るみになることを嫌う人もいると予想しております。ですので、本学において仮にフォローの方針を見直すのであれば、本学の他部署の公式アカウント、範囲を広げたとしても類縁機関の公式アカウントまでとなるだろうと感じました。

大変勉強になりました。九州地区以外からもオンラインで参加させていただき、ありがとうございました。

他大学の状況を知りたかったため、大変良かったです。ありがとうございました。

当館 Twitter には「Twitter 上での質問には答えない、メール・電話で連絡してください」とプロフィール欄に記載しておりますが、フォロワーとのコミュニケーションのお話を伺い、運用体制をもう少し緩められないか検討したいと思いました。また、文章術のお話しについても、とても参考になりました。人柄をにじませた文章を心がけたいですが、なかなかそのいい塩梅が難しいですが、他の図書館に限らず企業等の情報発信を参考にして改善していきたいと思えます。ありがとうございました。

とても勉強になりました。

講師の先生、準備してくださった皆様、お世話になりました。

ありがとうございました。

よくない文章の事例がまるで本学のお知らせの文章のようで愕然としました。

研修でのアドバイスを参考に学生に読んでもらえる文章に改善したいと思えます。

セミナー内で実際に文章を作成する時間があり、実践的で理解しやすくすぐにやってみようと思えました。

テーマ的に常日頃から頭を悩ませていたことでしたので、とても勉強になりました。

難しいような気もしますが、今回のような内容ですと、YouTube 上の配信に Zoom のチャットを映していただけると、よりよいかと感じました。

今回は、貴重なお話をありがとうございました。「誰に、何を伝えて、どうしてほしいか」意識することや、「広報は計画をたてて行う」ことなどの必要性を知り、今までただ「更新しなくては…」と場当たりに更新していたので考え方を考える機会になりました。

非常に有益なセミナーでした。地区外にも門戸を開いていただいたことに感謝いたします。

オンラインでしたので、遠聴講することができました。ありがとうございました。